

県内経済の動き

概況

〔2023年12月～2024年2月の動き〕

県内経済は緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（12月）は22カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（1月 細島港）は2カ月ぶりに前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（1月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（2月）は3カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（1月）は3カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（2月 保証対象請負総額）は8カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（1月）は前月比▲0.03の1.33倍で、2月の企業倒産は前月比横ばいの4件、負債額は同7億1百万円増の11億58百万円となった。

県内各地で春季スポーツキャンプが実施され、コロナ禍前と変わらぬ活況をみせた。今後の景気回復のカギを握る県内企業の賃上げ動向にも注目が集まる。